



<住所> 〒895-0012 薩摩川内市平佐町 985 番地
<電話> 0996-23-4602
<FAX> 0996-22-0582

文責 霧島 一浩

南中の卒業生「ミスター駅伝 春松千秋さん」

校長 霧島 一浩

10月の中旬まで30℃を越す真夏日が続き、おまけに雨降らず。最近、やっと過ごしやすくなってきました。気をもんでいた地区新人総体も無事、終了しました。

さて、先月の9月9日（木）の南日本新聞に、春松千秋さん逝去の記事が目飛び込んできました。春松千秋さんは、「ミスター駅伝」と言われるほど、鹿児島県下一周駅伝で名をはせた名選手・名監督の一人です。私自身、駅伝ファンの一人として、春松選手のことはよく知っていました。県下一周駅伝には、49歳まで選手として出走し、区間新記録10回、区間賞25回獲得し、川辺チームの監督時代には、総合優勝も経験されています。また、1986年に出場した福岡国際マラソンの2時間12分2秒の記録は、今年の2月まで鹿児島県記録となっていました。

春松さんは、旧加世田市の池田製菓（現在イケダパン）に勤務されていたために、川辺地区の選手・監督として活躍されましたが、昭和47年度（1972）の川内南中学校の卒業生です。偶然、川内中央中学校の池田 猛校長先生（川内南中卒業生）と電話をしているときに、本校の卒業生であることを知りました。翌日、川薩地区の監督も務められた百次にお住まいの泊 正人さんにお電話したところ、泊さんが中学校1年生のときの3年生で、県中学校駅伝大会で優勝したときのメンバーの一人であったこと、県大会の予選会となる川薩大会ではBチームで走り、結果がよかったので、県大会の選手に選ばれたことなど、当時のことを話してくださいました。高校時代後、福岡の実業団で力を付けて、その後、池田製菓に入社され、活躍されました。9月10日（金）の南日本新聞（記者の目）に、春松さんに関する記事が書いてありました。「腰の低さや思いやりの精神にあふれた飾らない人柄」「50歳で迎えた県下一周駅伝直前のことである。『正月に川内の実家へ帰って、毎日60キロ走りました』」の記事から、春松さんの人柄や駅伝にかける情熱が伝わってきます。機会があれば、川内南中学校の後輩たちに、駅伝への思いについて語ってもらいたかったなあと、悔やまれます。63歳という早すぎる死。ご冥福をお祈りいたします。

駅伝（男子）

県中学校駅伝大会 初優勝

- 1区 今村 孝明 (3年) 2区 泊 正人 (1年)
- 3区 山内 豊治 (2年) 4区 春松 千秋 (3年)
- 5区 杉安 一也 (2年) 6区 田島 信敏 (1年)
- 7区 杉安 透 (3年)

走ることが大好きで、自信のある人間が集まり小園客呂監督の厳しく柔軟な基礎練習、実践指導の中で意欲向上心が部員全員にあり、各学年レギュラー入りが大変でした。川薩大会後、県大会へ集中して、父母会および先輩、校区皆様のご支援が雰囲気一段と盛り上げた結果の優勝でした。翌年後も、個人団体の活躍が続き川内南中の名を広めた。卒業後も高校駅伝、県下一周、大学駅伝などに出場し活躍しました。

(記) 杉安 透



創立50周年記念誌から

10月の研究授業の様子です。



遠矢先生【技術】

嶺山先生【数学】

